

海と清流の恵みを守り育てる 未来応援プロジェクト



現状・課題

- 海洋環境の変化や漁業就業者の減少などを背景に、本県の水産業は厳しい状況にあります。
- 水産業が将来にわたって持続していくためには、魅力ある産業として選ばれる環境づくりが重要です。
- そのためには、未来を見据えて漁場環境の保全や水産資源の管理に取り組み、豊かな海と清流の恵みを守り育てることが求められます。

取組

環境保全と資源管理を軸に、和歌山の海と川の豊かさを次世代へつなぎます

- **栽培漁業の推進**
 - ・つくり育てる豊かな海づくりを推進するため、放流用種苗の生産や、稚魚等の放流に取り組みます。
- **沿岸漁業の再生を目指した漁場整備**
 - ・藻場の再生・拡大や漁業上有用な生物の増殖等に係る取組を支援します。
- **内水面漁業の振興**
 - ・アユ・アマゴの種苗放流、アユ産卵場の造成及びカワウ対策の取組を支援します。
- **資源管理の推進**
 - ・漁業者による自主的な資源管理の支援や、漁獲可能量制度の円滑な運用に取り組みます。
- **漁場環境の保全、水産資源の保護・添加に必要な調査研究**
 - ・漁場環境の保全、水産資源の保護・添加に必要な調査研究に取り組みます。



(熊野灘海域の藻場)



(アユの種苗放流)

寄附金の使途

栽培漁業の推進に要する経費、沿岸漁場の再生や保全に要する経費、内水面漁業の振興に要する経費、資源管理に要する経費